

## カスタマコントロールにおける多要素認証 の導入について

平素は弊社サービスに格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、フリーアクセスおよびフリーアクセス・ひかりワイドサービスにおいて提供中のカスタマコントロールにおきまして、不正アクセス等よりお客様設定情報を守ることを目的に多要素認証（ワンタイムパスワード認証：無料）を導入いたします。

### 【対応内容】

カスタマコントロールへログイン時、通常のオペレータID/パスワードでの認証に加え、ワンタイムパスワード（お客様登録メールアドレスに送付）による認証を追加いたします。また、あわせてメールアドレス/キーワード設定を必須とさせていただきます。（※1）

- （※1）多要素認証導入後のログイン時以降に設定必須となります。  
（初回ログイン時に登録することも可能ですが、ログイン時にスムーズに対応いただくため、事前登録をお願いいたします。）

### 【導入工事予定日】

2022年 10月 20日 AM 2:00～6:00（※2）

- （※2）工事日につきましては変更となる可能性がございます。  
変更となった場合はこの頁でお知らせいたします。

### 【多要素認証利用の選択について】

多要素認証をご利用いただくことで、アカウントのセキュリティを強化し第三者による不正侵入からの防御をより高めることが可能となります。

利用いただくことを推奨しますが、お客様環境により対応が困難な場合は多要素認証を利用しないことも選択可能です。（※3）

- （※3）多要素認証導入後のログイン時に利用する/しないの選択は必須となります。

ご不明な点がございましたら、ご迷惑をお掛けいたしますが各事業者へご連絡ください。

# 限定システム選択メニュー (多要素認証対応工事後の初回ログイン時に表示)



ログアウト

## システムメニュー

☑ メールアドレス/キーワード/認証設定

☑ 多要素認証ご利用方法

☑ パスワードロックアウト解除方法

## 【重要なお知らせ】

多要素認証設定、およびパスワードロックアウト解除のための「メールアドレス/キーワード/認証設定」登録メニューとなります。カスタマコントロールの利用にあたり、メールアドレス/キーワードワンタイムパスワード認証を利用する/しないの登録が必須となります。システムメニューから「メールアドレス/キーワード設定/認証設定」を選択し登録をお願いいたします。

※登録いただくことで、多要素認証（ワンタイムパスワード認証）がご利用いただけます。  
※多要素認証を利用いただくことにより、アカウントのセキュリティを強化し第三者による不正侵入からの防御をより高めることが可能となります。多要素認証の利用を推奨いたしますが、お客様環境により対応が困難な場合は多要素認証を利用しないことも選択可能です。  
※登録完了後は本メニューは表示されなくなります。（登録内容の変更は通常メニューの「メールアドレス/キーワード/認証設定」から実施できます。）

## 画面設定

- ①ワンタイムパスワード認証：利用する/利用しない（選択は必須）
- ②メール：設定（必須）
- ③キーワード：設定（必須）

## メールアドレス/キーワード/認証設定

キーワード：  (半角英数8～20桁)

ワンタイムパスワード認証：

「ワンタイムパスワード認証」  
選択BOXが追加

| 項番 | E-mailアドレス           | 備考 | テストメール |
|----|----------------------|----|--------|
| 1  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 2  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 3  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 4  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 5  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 6  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 7  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 8  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 9  | <input type="text"/> |    | メール送信  |
| 10 | <input type="text"/> |    | メール送信  |

保存 ☐ 保存時にキーワード通知メールを送信する。

## メールアドレス/キーワード/認証設定

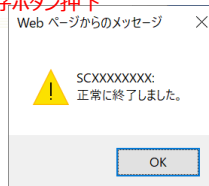
③ キーワード：  keyword1234 (半角英数8～20桁)

① ワンタイムパスワード認証：  利用する

| 項番 | E-mailアドレス                                  | 備考 | テストメール |
|----|---------------------------------------------|----|--------|
| 1  | <input type="text"/> aaaaaaaaa@nttcom.co.jp |    | メール送信  |
| 2  | <input type="text"/> bbbbbbbb@nttcom.co.jp  |    | メール送信  |
| 3  | <input type="text"/> cccccccc@nttcom.co.jp  |    | メール送信  |
| 4  | <input type="text"/>                        |    | メール送信  |
| 5  | <input type="text"/>                        |    | メール送信  |
| 6  | <input type="text"/>                        |    | メール送信  |
| 7  | <input type="text"/>                        |    | メール送信  |
| 8  | <input type="text"/>                        |    | メール送信  |
| 9  | <input type="text"/>                        |    | メール送信  |
| 10 | <input type="text"/>                        |    | メール送信  |

保存 ☐ 保存時にキーワード通知メールを送信する。

保存ボタン押下



※キーワード、メールアドレス登録済みの場合も同画面

ワンタイムパスワード  
送付用  
アドレスとして利用

プルダウンの値  
・白（初期値）  
・利用しない  
・利用する

## 通常システムメニュー

前頁設定保存後に通常システムメニュー画面に移行する。



メールアドレス/キーワード設定/認証設定  
の変更は通常システム画面からも可能

# ワンタイムパスワード利用時の画面遷移

## ログイン画面

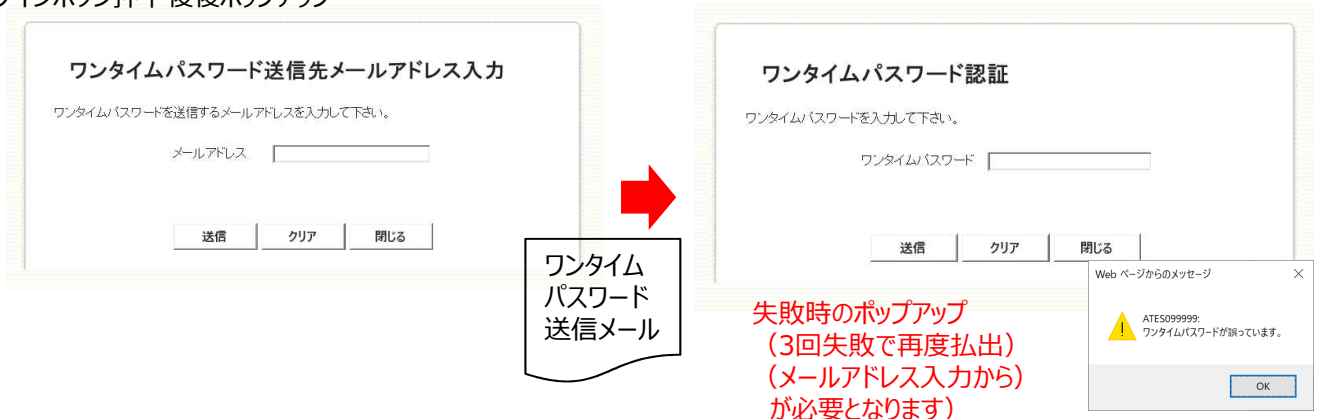


NTT西日本 ログイン画面のスクリーンショット。ページ上部にはNTT西日本のロゴと「ログアウト」ボタンがある。中央には「カスタマコントロール」のヘッダーがあり、その下に「ユーザー認証」のセクションがある。このセクションには「オペレータID」と「パスワード」の入力欄と「ログイン」「クリア」ボタンが配置されている。下部には、認証ロックアウトの解除やパスワードの再入力に関するリンクと、推奨環境（OS: Windows 10, ブラウザ: IE11/Edge/Google Chrome/Firefox）の案内が記載されている。

## 多要素認証（ワンタイムパスワード認証）ご利用時

ログイン画面にてオペレータID/パスワード投入  
しログインボタン押下後後ポップアップ

メールアドレスが登録されたものと合致した  
場合、ワンタイムパスワード入力画面がポップアップ



ワンタイムパスワード送信と認証のフローを示す図。左側の「ワンタイムパスワード送信先メールアドレス入力」画面では、メールアドレスを入力し「送信」「クリア」「閉じる」ボタンを押す。右側の「ワンタイムパスワード認証」画面では、ワンタイムパスワードを入力し「送信」「クリア」「閉じる」ボタンを押す。中央には「ワンタイムパスワード送信メール」という吹き出しがあり、右側には「失敗時のポップアップ（3回失敗で再度払出）（メールアドレス入力から）が必要となります」という注釈がある。右下には「Web ページからのメッセージ」のポップアップが表示されており、メッセージ内容は「ATES0999999: ワンタイムパスワードが誤っています。」とあり、「OK」ボタンがある。

## 通常システムメニュー画面



NTT西日本 通常システムメニュー画面のスクリーンショット。ページ上部にはNTT西日本のロゴと「ログアウト」ボタンがある。左側には「システムメニュー」のサイドメニューがあり、以下の項目がリストアップされている：

- カスコンWebシステム
- トラヒックレポートシステム
- カスタマコントロール操作マニュアル
- パスワード変更
- メールアドレス/キーワード/認証設定
- 多要素認証ご利用方法
- パスワードロックアウト解除方法

右側には「NTT西日本からのお知らせはこちら」というリンクがある。

## ワンタイムパスワード送信メール 内容

◆送信元アドレス：no-reply@freeaccess-west.jp

◆件名： NTT西日本からワンタイムパスワード発行のお知らせ

◆文面

こちらは、NTT西日本です。

平素は弊社サービスに格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

カスタマコントロールWebシステムのワンタイムパスワード認証要求画面に、  
下記のワンタイムパスワードをご入力ください。

\*\*\*\*\*

ワンタイムパスワード：XXXXXX

\*\*\*\*\*

※本メールにお心あたりがない場合は、第三者がログインしようとしている  
可能性がありますので、パスワードの変更をお勧めいたします。

このメールはシステムにより自動発信されております。

本メールに返信していただきましても、ご質問・ご依頼などにはお答えで  
きませんので、返信しないよう、あらかじめご了承ください。

## FAQ

| 項目      | 問い合わせ内容                         | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 多要素認証種別 | 多要素認証はメールによるワンタイムパスワードのみか？      | メールによるワンタイムパスワードのみとなります。<br>(他多要素認証の導入予定は現行はありません)                                                                                                                                                                                                                        |
| 多要素認証設定 | 多要素認証は設定必須か？                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多要素認証を設定せずともカスコン利用の継続は可能です。</li> <li>・多要素認証を利用いただくことにより、アカウントのセキュリティを強化し第三者による不正侵入からの防御をより高めることが可能となります。</li> </ul> ※多要素認証についてはご利用を推奨いたしますが、お客様環境のご都合で利用いただけない場合、カスタマコントロールのオペレータID/パスワードの変更等の頻度を上げる等の対応も合わせてご検討いただけますようお願いいたします。 |
|         | 多要素認証（ワンタイムパスワード認証）は後からでも利用可能か？ | 可能です。<br>システムメニューの「メールアドレス/キーワード/認証設定」から設定いただくことが可能です(親オペレータID、子オペレータIDともに)<br>親オペレータIDをご利用の場合はオペレータID登録・変更業務にても利用可能とすることができます。                                                                                                                                           |
|         | メールアドレス、キーワード設定は必須となるのか？        | メールアドレス、キーワード設定については多要素認証導入（2022年10月20日予定）以降設定を必須とさせていただきます（認証ロックアウト/パスワードロック解除を問合せ窓口へ申請する事なく、お客様自らがシステムで実施可能となるため設定を強く推奨してまいりました。この度、多要素認証を導入にあわせて設定が必須となります。）                                                                                                           |

## FAQ

| 項目           | 問い合わせ内容                                 | 回答                                                                                                                                                                   |
|--------------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ワンタイムパスワード関連 | ワンタイムパスワードが到達しない<br>(そのためカスコンにアクセスできない) | メールアドレス誤りにより、ワンタイムパスワード時のメールを取得できないことが想定されます。親オペレータID利用者に連絡いただき、システムメニューの「メールアドレス/キーワード/認証設定」よりメールアドレスを変更いただくか、ワンタイムパスワード認証を「利用する」⇒「利用しない」に変更していただくことでカスコンログインが可能です。 |
|              | ワンタイムパスワードの送信元メールアドレスはなにか               | no-reply@freeaccess-west.jp<br>となります。                                                                                                                                |
|              | ワンタイムパスワードの入力時に失敗した際にどうなるか？             | ワンタイムパスワードの入力を3回失敗すると無効となりますので、再度新しいワンタイムパスワードの払出しが必要です（カスコンアクセス時の登録メールアドレスの投入から実施）<br>新たなワンタイムパスワードの払出しを行うことで、ワンタイムパスワード入力失敗のカウンターがクリアされます                          |
|              | ワンタイムパスワードの入力違いは何回まで許容か？                | 3回連続で入力を間違えると無効となります。（2回までは許容）<br>（ログイン、登録メールアドレスの入力から再度実施要）                                                                                                         |
|              | ワンタイムパスワードに有効期限はあるか？                    | 有効期限はありません。（ただし一度画面を閉じ、ログインから再度実施された場合は、新しいワンタイムパスワードの払出しが必要となります。）                                                                                                  |
| 多要素認証開始時期    | 多要素認証（ワンタイムパスワード認証）の開始時期はいつか？           | 2022年10月20日の予定です。工事日につきましては変更となる可能性がございます。                                                                                                                           |